

2023年度 学校関係者評価報告書

常翔学園中学校・高等学校

2023年度の学校自己評価に基づき、学校関係者評価委員の方々から評価と提言を頂きましたので報告いたします。

＜学校関係者評価委員会＞

委員会は後援会会長・後援会副会長（2名）・卒業生(2名)の5名の方で構成されています。

学校関係者評価委員の評価と提言

学校運営に関すること

○「初任者のサポート状況」の評価が低いのが気になります。勤続年数10年未満の人数の割合が50%以上を占めていることから、ベテラン教員より若手教員が多いと思われるので、教員経験が浅い初任者に対する負担を軽減をすると、一部の教員に負担が集中してしまうことが懸念されます。現在教員が抱えている職務自体を減らすことが望ましい。例えば、高校の三者懇談を年1回に減らす、体育祭や文化祭などの行事は生徒が主導する、など必要性が低い職務を軽減するような方法を検討していただきたい。

○先輩教員が後輩教員のメンタリングを行い、ともに知恵を出し合いながら教育を実践できるよう、組織として教職員の育成支援を行い、学校力を向上させるよう取り組んでいただきたい。

○2023年度はコロナ禍が終わり、世間的に見ても以前のように社会活動が再開された年ではありましたが、地域交流の項目において前年度実績を下回っています。地域貢献・地域交流を活発に行うことで、今まで以上に地域の方々から目にかけて頂けるような学校作りが理想的だと思います。その一つとして、次年度の対策に文化祭への招待が記載されていますが、告知方法が重要であると思うので、成果に期待したいと思います。

○例年のごとく、あまりにも評価が低すぎると考えます。勤務年数が短いのと若い世代の職員が多く、学校運営に関する項目に関心が無さすぎが気になります。学園の各組織や中学校・高等学校の経営等はホームページにも記載しております。よくお読みになって理解を深めて頂きたい。初任者のサポートは定期的に時間を作り、教育(若手を中心)及び教員に対し指導を行う必要があると考えます。

○初任者のサポート状況については半数近くが否定的な評価である一方、教員の資質向上は高評価という結果に違和感があります。横のつながりや交流はできているが、責任をもった指導は難しいとの表れなのかと思います。

○新入職員への研修は、新人研修後に継続して2～3年ほど長めのサイクルで行い、そこからベテランの知恵や知識、経験を引き継がれるような工夫が必要だと思います。それで育っていけば更にその下の世代に繋がっていくのではと考えます。

○教職員全体的に建学の精神・愛校心が根付いており、学校運営がうまくいっていることが伺える。海外留学生の受け入れや海外留学の機会が多く、非常に国際色豊かな学校なので、教職員の方々も対応が大変だとは思いますが、次年度のグローバル探究コース設立も控えており、是非がんばっていただきたい。今後も学園全体で連携をとりあい、全体としてのブランディングを高めていくことを期待したい。

教務・教科指導に関すること

○「学習指導要領の対応状況」「学習指導」に関しては教員の努力を評価します。引き続き、思考・判断・表現力の育成に力を入れていただきたい。

○スポーツ・芸能文化が前年度3ポイントアップでしたが、コロナ禍収束により学校行事が以前通りに再開されたことが影響したと思われます。1年間を通して経験させて頂いた感想としては、全体的に内容が濃く、生徒にとっても大変有意義な充実したプログラムが多数あると感じました。残念ながら今年度目標には未達成であったため、生徒主体の参加型をモットーにさらなる改善を期待したいと思います。

○学習指導要領に沿った指導は良い事だと思います。反面、人権教育等は、教員の意志、意見等も入る為、教員に対しての指導が必要なのではないかと考えます。

○体育祭や文化祭また校外活動が増えてきて、通常の学校生活を行えることが当たり前になってきました。今まで制限された範囲での活動は、生徒や保護者また教職員の皆様にとってもかなりストレスだったと思います。色々な学校、文化、社会との交流をもつことは多感な世代にとっては非常に重要な経験だと思います。生徒の皆さんには地元地域社会との交流などもボランティアなどを通じて増やして、様々な経験をさせてあげて欲しいです。

○「学習指導要領の対応状況」がポイントダウンしたことについては、生徒の反応を見ながら手探りですすめているであろうことが推測できる。自己研鑽に努め、新しい手法で魅力ある学習指導方法を発見して欲しい。「スポーツ・芸術文化」について、コロナ禍を経て、学校行事が復活したことがとても喜ばしい。単に元に戻すだけではなく、失われた日々を経験として、行事内容をアップデートしていただきたい。

イノベーション教育に関すること

○「国際理解・交流」の目覚ましいポイントアップを高く評価します。海外研修や留学、その他様々なプログラムに取り組まれています。環境問題や少子・高齢化対策などの課題には国際協力・共存が不可欠です。国際交流を通して、異文化への理解を深め、グローバル人材育成に繋がることを期待します。

○国際交流には大変力を注がれていることを肌で感じていましたが、高い目標達成率でしっかりとその成果が数字に表れていると思います。

○若い世代の教員が多い中、新しい教育への取り組み、国際理解・交流などは非常によく頑張っており取り組んでいると思います。このまま熱心に進んでいただきたい。

○海外研修の復活がなされ、様々な国の姉妹校と国際交流を深めることは、言葉や文化の違いに直接触れることができ非常に価値のある経験だと思います。学校として国際交流に力を入れていることはこれからの生徒確保の観点からも重要になると思います。これからも更に交流する機会を増やして社会にでて活躍できる人財を育んでください。

○アクティブラーニング形式の授業を代表とする「新しい教育への取り組み」は、一方通行の授業ではないので、先生も生徒も楽しみながら取り組めるのではないだろうか。前年度は進学実績も大幅に上昇していることから、新しい時代にあった教育で結果が出せていることに手ごたえを感じているはず。新規入学の生徒・保護者もきっと最新のイノベーション教育に期待しているはずなので、プレッシャーも多いと思うが、モチベーションを保ち、更なる向上を目指していただきたい。

生徒指導に関すること

○「環境問題」はこれからますます重要性が増していくと認識します。環境・自然と人間とのかわりについて教員間でも共通理解を図り、実社会で実践できるように校内の美化にとどまらず、体験的な学習を取り入れていただきたい。

○部活動への参加は、学生にとって学業と同等に重要であると思います。現に部活動への参加と学業成績が相関しているとのエビデンスも多数あることから、今後学校全体として更に部活動への参加率が上がり、学校全体として部活動が活発に行われている雰囲気を作り上げて欲しいと思います。

○この項目では良く出来ている分野とそうでない分野がはっきりとわかれていると思われます。教員の意識の中で自分自身に関する事は出来ているが、直接関係のない事の意識が低い様に思えます。

○部活動について、常翔には特進系クラスの生徒も積極的にクラブ活動に参加できる体制があり、指導者の方も勉強の大切さについて理解があるので、とても感謝している。最近、他校でクラブ活動のいきすぎた指導により体罰問題が話題になったりしていましたが、一方的に指導者の方が熱くなりすぎることをないよう、指導者の方への倫理教育もお願いしたい。

○「いじめ防止対策」が昨年よりも下がっていて残念です。いじめが起因して不登校やもっと大きな問題につながる可能性があるので頑張っていたきたいところです。ボランティア活動はコミュニケーションを取るためにも非常に重要ですので校外で自然に行動できるように校内での啓発活動を進めてほしいです。ボランティアが自然になるといじめ問題も減少すると考えます。

進路指導に関すること

○「進路指導」「内部進学」どちらも高く評価します。教員の意識レベルが高く、総合型選抜や推薦型選抜などに対応できるような指導が行き届いていると感じます。個々の生徒に対するきめ細やかな指導をさらに目指していただきたい。内部進学については、学園内大学への見学ツアー、大学体験などで生徒の関心を高める取り組みがなされていることを評価します。

○大阪工業大学や摂南大学とのコラボ授業や、学校説明会及びオープンキャンパスへの参加等により、生徒や保護者に対して、積極的に学園内大学との関連を周知されているように感じます。全教員に対しても毎年説明会が実施されているとのことですので、学園内大学への理解はより深まっていることと思います。これを活かして、より多くの生徒が内部進学にも繋がる選択肢を持てることを期待します。

○進路指導に関する項目は、よく出来ていると感じます。生徒の進学は大切な事なので、このままよき指導を目指して頂きたい。

○進路指導には非常に注力されていることと思います。生徒やその保護者にも異なった考えがあるでしょうから進路指導部の存在は仲介の役割もあり来訪者が増えてきているのかもしれませんが。様々な特色や環境で大学も学生の獲得を狙っている中、常翔学園には違う特色の学園内大学があります。早い段階で学園内3大学の魅力を発信していただいて、学園内大学との連携プログラムをさらに充実させて各大学の強みや魅力を実感してもらえるシステム作りをお願いしたいです。

○1年時の保護者説明会から具体的な大学進学についての話を聞くことができ、大学受験に対する親の心構えが早期にできたことは大きな収穫であった。学園内大学の説明会も開催され、大学進学を考える際、学園内大学への進学も一つの選択肢として考えられることはとても安心感がある。

保健及び危機管理に関すること

○適切に行われていることを評価します。

○全体的に高水準での推移であり、しっかりとフォロー頂いていると思います。

○よく出来ていると思います。保健室の教員や指導者の努力がうかがえます。このまま、また更に良き指導をお願いしたい。

○Classi による相談室だよりや保健だより等、保健室は情報発信に努めている。今後も生徒の心の拠り所として、子ども達に寄り添っていただきたい。

○カウンセリングには行きにくい、けれども話は聞いてほしいし相談もしたいという生徒は多数おられると思います。保健室やカウンセリングルーム以外で、日常会話での相談や話ができる環境を作ることができれば、いじめや不登校になる前に兆候を発見できるかもしれません。

募集活動に関すること

○中学受験出願者数が増えたことについて、入試業務担当の教員の努力の賜物と評価します。まだ中学校設立から年数が浅いものの、着実に認知度、人気が上がっているのは HP や SNS を利用した情報発信と関連していると思います。HP は受験生・在校生・保護者にとって見やすい構成になっていて、写真の掲載も多く、本校の魅力がよく伝わっています。

○入試業務の項目において、今後の対策として受験エリアの拡大を挙げられていますが、それと同時に、知名度アップのための更なる働きかけが重要ではないかと思います。

○学校のホームページや SNS 等で発信している広報はすごく良いと考えます。受験生や保護者の方々によき印象を与え、積極的な情報公開をお願いしたい。コースに応じた学力を持っていない生徒がいると思うならば教員の努力において、ある程度のレベルに押し上げる様に生徒指導をお願いします。

○ホームページについては業者やコンテンツを変更していくことで雰囲気も変わって今まで以上に見てくれるようになると思います。

○やはり、学校生活や行事の様子、部活動の報告が掲載されているので非常にわかりやすく入学してからの学校生活も想像できると思います。卒業生や保護者への情報発信がもう少し充実させて欲しいです。校長ブログも楽しく拝見しています。これからも発信を継続してください。

○2026年度より全学年で大阪府の高校無償化が実施されることが決定し、私立高校への進学希望者が増えると予想される。その中で、常翔学園を第一志望としてもらえるよう、他の高校と差別化をはかり、「高い大学進学率・充実した設備・活発なクラブ活動」をアピールし、魅力ある学園作りを目指していただきたい。

以上